

市進学院

配点 大問1 8点 大問2 8点 大問3 26点 大問4 38点 大問5 20点

目標点 45点

問題分析

1 漢字の読み(4問) 2漢字の書き(4問)→他校より1題少ない
3 小説文(約4500字) 4 論説文(約4500字) 5現古融合文(約4000字)

本文の字数は約1300字と毎年ボリュームが多く、1000字/1分のスピードで読解をし、1問4問特性及設問で対応する必要がある。予備は難しいが、た。

1,2 沃田・時宜・東眞 自校作成校としてはやや難しい
書き 敵せず・上気・火作 漢字は難しいが「意味」をしっかり考える

3 砥上裕将 「一線の湖」より出題(2025日比谷高校でも出題された文章)
水墨画を学んでいる主人公が小学校で特別授業を行うときに、図らずも水墨画の神髄に触れることになるという内容。
記述は空欄にしないように、傍線部付近を精読すること。

4 論説文(朝倉友海『ことばと世界が変わるとき』)
「客観性とは何か」について抽象的に述べている文章。読解に時間がかかる。
作文の題「あなたは自分ごとばの客観性についてどのように考えるか」。
→配点高い。空欄は避け、部分点を取ればよい。位の気持ちで書けばよい。

5 現古融合文(田淵句美子『百人一首一編集がひろく小宇宙』)
百人一首を題材としているが、各句の解説は詳しいので、高得点を狙いたい。
例年、大問5はしっかり得点する必要がある。時間配分に注意。
(今年は文章の量が多く、時間が足りなかったと思うが・・・)

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点 (記述3題)

目標点 65点

問題分析

1 小問集+作図 2 関数 二次関数
3 平面図形 4 整数問題(西高独自のスタイル)

昨年度より、取り組みやすい問題が増えた。大問4〔問3〕は難問。いかに取れるべきところで確実に得点できるかが合否の分かれ目。

- 1 例年小問が5題出題される。計算は2問とも落とせない。
問3は引いた番号のカードを入れ替える確率の問題。
- 2 定標を文字で置き、立式。定番のパターンをしっかり練習すること。
問3 円がらみは珍しいが、三平方の定理を使えば解ける。
- 3 円と相似・合同の問題はしっかり練習しておくことが大切。
問題数をこなすと問2でOC(半径)に補助線が引けるようになる。
- 4 今年は問2も何としても取りたい問題(部分点でも可、空欄は避ける)
リード文の誘導通りに立式ができるかどうかのカギ。

配点 大問1 20点 大問2 28点 大問3 20点 大問4 32点

目標点 55点

ESAT-J⇒受験者の約95%がA評価

問題分析

- 1 リスニング 2 対話文
3 説明文 4 説明文 長文の語数 約3000語
※形式は昨年とほぼ同じ
- 講評
- 文章量が多い。速読の練習を積んでおく必要がある。
「内容一致」問題が配点が高い。過去問で練習を積むこと。
- 1 BのQ2の正答率が低い。単語スペルミスや冠詞の付け忘れなどに注意。
- 2 対話文 日本とインドネシアの高校生が、海の環境問題について話し合う
問4は動詞を適切な形に変形しなければならないため、差がついた。
- 3 説明文 小鳥やアリなどの動物のコミュニケーションについて
10択の選択肢問題もあり、解答に時間がかかる。
消去法に頼らない読解力が必要。仮定法の知識も要求された。
- 4 説明文 ボスボス海峡周辺交通状況について
イラストは本文を理解するためのヒントとして考えるとよい。
西高の英語で高得点をとるには「スピード」と「正確さ」が要求される。
過去問等を通じて、多くの英文を読みこみ、速読力を付けることが
要求される。

難易度の標記 A:易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B:標準(落とせない) 目安→正答率79~60%
C:やや難問(可否を分ける問題) 目安→正答率59~40%
D:難問(1問でも出れば良し) 目安→正答率39~11%
E:超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下

2025目標点 英数国160+理社170=330
目標内申 62/65